

■ なぜ学ぶのか・・・

今年度最後の校報となりました。そして、私が皆さんと一緒に様々なことを考えたり、伝えたりする最後の機会となりました。そこで、皆さんと一緒に考えたいことについて述べます。以下の内容は、全校放送朝会でお話した内容であり、その内容を改めて紙面に起こしました。

世界中で内戦、クーデターなどで混乱の中にある国や地域の子どもたちへのインタビューを取り上げた番組で、「今、あなたが欲しいものは何ですか？」という問いに対して、

**「僕は、誰からも盗まれないものが欲しい」、
「いっぱい勉強したいんだ。いろんなことを知りたい。だって、学んだことは誰からも奪われたり盗まれたりしないでしょう。僕の中にずっと残るから・・・」**と答えました。平和な国に生まれ、暮らしている私には、まったく思いもよらない言葉でした。

また、ジャーナリストの池上彰さんは講演会の中で、その場にいた中学生に対して**「今、君たちは勉強している。教育は財産であり、誰からも奪われることはない。自分で考え、発言できることが大事で、それがいずれ日本を発展させる」**と語りかけました。

池上さんの言う「教育は財産であり、誰からも奪われることはない」という言葉と、インタビューに答えた子どもの「誰からも盗まれないもの」が一致した瞬間、私は、未来を担う皆さんのために、本当に大切なものは何かについて、改めて考えさせられました。

さらに、パキスタン出身、平成26年に17歳でノーベル平和賞を受賞したマララ・ユフズザイさんのスピーチの内容も全校朝会で紹介しました。その言葉を以下に記します。**「世界を変えられるものは教育である」**(引用で「ペンが剣よりも強し」という言葉を引用しています)、『「人権侵害」、「男女差別」、「子どもの権利」、「国内外の紛争」など、解決の糸口は**「それらの問題を見抜ける物の見方、考え方を身に付けることです。それは教育、**

学ぶことがなければ前に進まないのです』、

「国や地域を混乱に落とし入れようとする一派が一番恐れるものは、本とペンです。教育の力は彼らにとって驚異なのです。だからこそ、教育を受けるのは私たちの大事な権利であるだけではなく、その義務と責任でもあるのです」、「良質な教育を受け、幸せな人生を送る権利が万人にあるのです」など、講演の中で述べています。

今、私たちに求められていることは、様々な物事に対して、目を向け、耳を傾け、考え、判断し、意思表示し、行動することであると思っています。「なぜ学ぶのか」を問い続け、考え続け、判断して、意思表示していくこと、また相手の考えを受け止め、自分の考えと照らし合わせ、さらに熟考していくことは、自分自身を変え、自分自身を成長させ、そのことが自分自身を大切にすることにつながっていきます。相手の考えや判断を受け止めることは、相手を大切に、相手とともに成長し、相手を大切にすることにつながっていきます。「なぜ」という疑問をもち、考え、判断し、意思表示するためには、考える材料となる「学び」が必要で

す。今、そのために必要となる知識、理解、技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう関心・意欲・態度など、私たちの成長のための力を蓄えることが求められているように思います。「なぜ学ぶのか」、是非問い続ける人であってほしいです。そのことが、皆さんの今後の豊かな人生、夢や希望のあふれる人生、思いや願いを実現する人生の原動力となるのではないのでしょうか。皆さんのこれからの人生に幸あれと願って止みません。

併せて、震災やコロナなどの困難に立ち向かい乗り越えてきた私たちだからこそ、ともに強く生き、人の心の痛みや辛さを感じ取り、美しく輝く未来をみつめ、夢や希望をもって前向きに歩み続ける皆さんであって欲しいと願っています。皆さん、お元気で・・・(終)

校報

矢巾中

世界に響け 矢中魂

第21号 文責 福士 幸雄

